

# 製品安全データシート

DOC NO  
版数, A/0

1 / 5  
最終更新日 2015-1-30

## Tinci (R) NTC-CARBOMER FD 21

### 1. 製品及び会社の特定

1.1 製品名:	NTC-CARBOMER FD 21
1.2 INCI 名:	Acrylates/C10-30 Alkyl Acrylate Crosspolymer
1.3 化学族:	疎水変性アクリレートクロスポリマー
1.4 会社情報:	
製造会社:	Guangzhou Tinci Materials Technology Co., Ltd
住所:	Kangda Road No.8, Yunpu Industrial Zone, Huangpu Region, GuangZhou, China
電話番号:	(86 20) 82251159
FAX 番号:	Fax No.(86 20)82058669
緊急連絡先:	(86 20) 82251159
連絡窓口:	テクニカルサポートエンジニア
1.5 発行日:	2015 年 1 月

### 2. 危険有害性

2.1 性状	白色粉末
2.2 におい	わずかな酢酸臭
2.3 区分	分類できない
2.4 標的器官	情報なし
2.5 警告表示	情報なし
2.6 危険有害性情報	情報なし
2.7 その他危険	確認されていない。
2.8 予防措置	情報なし
2.9 応急措置	
火災時	二酸化炭素、粉末式消火器、泡消火薬剤、水噴霧を使用する。二酸化炭素は冷却能力に欠けており、再度発火する可能性がある。ホースによる放水や、塵雲の発生を避ける。
皮膚に付着した場合	大量の水と石鹼で優しく洗う。再度使用する前に、汚染された衣類を洗う。皮膚刺激が発生した場合：医師の手当てを受ける。
目に入った場合	数分間、水で慎重に洗い流す。医師の診察を受ける。
吸入した場合	呼吸器症状が現れる場合：毒物センターか医師に連絡する。呼吸が困難な際は酸素を吸入する。呼吸が停止している場合は人工呼吸を施す。
飲み込んだ場合	気分が悪い時は、毒物センター又は医師に連絡。症状に応じて処置する。
2.10 保管方法	涼しく、乾燥した風通しの良い場所で保管する。密閉容器に保管する。
2.11 廃棄方法	地方、国内、国際規則に従って廃棄する。

危険有害性情報の詳細については、項目 11 番を確認してください。

### 3. 組成/成分情報

有害成分:			
化学名	CAS No.	重量%	発ガン性物質
残留アクリル酸	79-10-7	≤0.1	N/E
残存酢酸エチルシクロヘキサン	141-78-6 / 110-82-7	≤0.45	N/E

### 4. 応急措置

4.1 目に入った場合	ただちに多量の 1% の生理食塩水で 5 分間まぶたを開けたまま洗い流す。生理食塩水がない場合、多量のきれいな水で 15 分間洗い流す。医師の診断を受ける。水分は本品をゼラチン状の膜の様に膨潤させるため水のみで眼から除去することが困難な場合がある。
4.2 皮膚に付着した場合	石鹼と水で洗う。炎症が悪化した場合は医師の診察を受ける。再度使用する前に汚染された衣類を洗濯する。
4.3 吸入した場合	有害な影響が認められた場合、被爆者を空気が新鮮な場所に移動する。呼吸が困難な時は酸素を吸入する。呼吸が停止している場合、人工呼吸を行う。刺激が持続する場合、または有毒症状がみられる場合は、医師の診察を受ける。

# 製品安全データシート

DOC NO

2 / 5

版数, A/0

最終更新日 2015-1-30

## Tinci (R) NTC-CARBOMER FD 21

4.4 飲み込んだ場合 症状により処置する。医師の診察を受ける。

4.5 応急処置を行う者を保護するための助言

応急処置を行うときは、必ず手袋、マスク、保護眼鏡を着用することで、化学物質や血液感染性の疾患からの曝露を防ぐ。

心肺蘇生を行う際は、マウスピース、蘇生バッグ、ポケットマスクなどの人工呼吸器、その他換気装置を使用する。応急処置後は、石鹼と水で曝露した皮膚を洗い流す。

4.6 医師への注意 医師へ：症状により処置をする。

### 5. 火災時の措置

5.1 引火点 情報なし

5.2 燃焼又は爆発特性 最小点火エネルギー > 50mJ

爆発指標 157 - 193 bar m/sec (7476 - 9190 psi ft/sec).

体積抵抗率 4.7 x 10+15 ohm-cm.

粉塵雲の発火温度 ~ 480 °C (~ 896 °F).

本製品は、高い体積抵抗率と静電気を蓄積する傾向があるため、火花となって放電する可能性がある。火花は溶媒蒸気/空気混合物の発火源になり得る。本製品を溶剤に加えた場合は、引火性の蒸気を不活性化するための適切な安全対策を行う。すべての有機粉塵と同様に、危険な割合で空気中に浮遊している微粒子は点火源の存在下で発火または爆発する可能性がある。粉塵は、静電気放電、電気電弧放電、閃光、溶接器、タバコ、裸火、または他の発熱源による発火に敏感な場合がある。予防措置として微粉末化した有機粉末を取り扱うための標準的な安全対策を実施する。

5.3 消火剤

二酸化炭素消火剤、乾式化学消火剤、泡状消火剤、水噴霧消火剤、霧状消火剤。二酸化炭素は、冷却能力の欠如により大きな火災に対しては効果がない場合あり、再発火を引き起こす可能性がある。ホースからの流水や粉塵雲がおこる消火法は避ける。

5.4 不適当な消火剤 情報なし

5.5 消火活動の手順 顔面、肌着、ズボン、手袋、ブーツを着用して、陽圧状態で作動する自給式呼吸器を含む全身保護防火服を着用する。水噴射器を使用しない。

5.6 異常な火災/爆発の危険性

固体は容易に可燃性蒸気を放出しない。この原料は、粉塵爆発の危険性があると考えられている。原料は粉塵爆発のクラス ST1 と分類されている。原料は爆発性の有機粉塵の空気混合物を形成することがある。浮遊粉塵を最小限に抑えるように注意する。

### 6. 偶発的放出時の措置

6.1 予防措置、保護具及び緊急時の手順

個人用保護具を着用する。

注意-この原料は濡れると滑りやすくなる。

6.2 環境予防措置及び保護手順

下水道や水路への漏出を防ぐ。

6.3 清掃及び除去方法

原料（製品）の再利用または処分のために拾い集める。粉末が巻き上がるのを避ける。洗浄剤で漏出場所を洗う。

### 7. 取扱い及び保管

7.1 取扱い

熱、火花、種火、静電気、火気のない場所に保管する。粉塵が発生するのを防ぐ。清掃・整理整頓を維持管理する。本製品の飲食・摂取を避ける。粉塵、エアロゾル、霧状、噴霧、煙霧、蒸気の吸入を避ける。適切かつ十分に換気して使用する。製品を移送する際は、容器を接地・結束する。長時間の皮膚接触を避ける。再使用する前に、汚染された衣類を洗濯する。

地域、地方、国内および国際規則に従って容器や包装を廃棄する。

7.2 保管

涼しく乾燥した、換気のよい場所で保管する。使用しない時、容器は閉じる。

### 8. 暴露防止及び保護措置

8.1 暴露限界

組成

CAS No.

長期(8時間 T.W.A.)

短期(15分)

# 製品安全データシート

DOC NO  
版数, A/0

3 / 5  
最終更新日 2015-1-30

## Tinci (R) NTC-CARBOMER FD 21

EU	シクロヘキサン	110-82-7	200ppm	N/E
UK	該当なし			
アイルランド	シクロヘキサン	110-82-7	100ppm	300ppm
	アクリル酸	79-10-7	10ppm	20ppm
インド	該当なし			
キプロス	シクロヘキサン	110-82-7	200ppm	N/E

- 8.2 その他の曝露限界 呼吸が可能なポリアクリレート粉の産業業界が推奨している許容曝露限度は **0.05 mg/m<sup>3</sup>** である。
- 8.3 技術管理 使用時に粉塵が発生する場合は、局所排気換気を推奨する。必要な場合、粉塵の吸入を防ぐために局所換気をし、粉塵を作業員から払い落とす。空気中の高濃度の粉塵や装置への塵の蓄積を避ける。
- 8.4 個人用保護具
- 呼吸保護具： 推奨されるフィルターが曝露限度を超えた場合は、高効率粒子状物質 (HEPA) フィルターを備えた呼吸用マスクを使用する。この物質の使用に対し適切な呼吸保護を決める場合は、産業衛生士に相談する。作業場の状況によって呼吸マスクを使用する必要があるときは常に、適用されるすべての規則に準拠した呼吸保護要項に従う。
- 目保護具： 安全眼鏡またはゴーグルを着用する。
- 手の保護具： 皮膚への接触を避けるため、良質な工業衛生習慣を実施する。製品に触れる可能性がある場合、化学用保護手袋を装着する。
- 推奨する服装： 長袖のシャツを推奨する。
- 衛生措置： この製品を取り扱った後は手洗いを徹底する。

### 9. 物理的及び化学的性質

- 9.1 物理的状態： 白色粉末
- 9.2 におい： わずかな酢酸臭
- 9.3 PH (@ 0.5% in H<sub>2</sub>O)： 2.5 - 3.5
- 9.4 蒸発率： 不揮発性
- 9.5 水溶性： 水に膨潤する
- 9.6 乾燥による損失： ≤ 2.0 %
- 9.7 蒸気圧： 該当しない
- 9.8 融点： データなし
- 9.9 蒸気密度： 不揮発性
- 9.10 引火点： 該当せず
- 9.11 自然発火点： ~480°C (~896°F)
- 9.12 爆発データ： 塵は空气中で爆発性混合物を形成することがある。

### 10. 安定性および反応性

- 10.1 化学的安定性： 本製品は高温、高圧下においても通常安定している。
- 10.2 他の物質との不適合性： アンモニア、水酸化ナトリウムまたは強塩基性アミンのような強塩基性物質と接触すると熱が発生することがある。
- 10.3 重合： 発生しない。
- 10.4 分解温度： 情報なし。
- 10.5 熱分解： 煙、一酸化炭素、二酸化炭素、アルデヒドおよび不完全燃焼の他の生成物。
- 10.6 避けるべき条件： 情報なし。

### 11. 毒物学的情報

- 11.1 急性暴露
- 目刺激 目刺激は起きないと思われる。類似の原料のデータに基づいている。微粒子が機械的な刺激を引き起こす可能性がある。目に入った固体粒子 (粉や粉塵) は、痛みや刺激を引き起こす可能性がある。
- 皮膚刺激 一次皮膚刺激は起きないと思われる。類似の原料のデータに基づいている。接触皮膚炎は、衣類の温度上昇および閉塞を伴う高濃度の曝露など、長時間および繰り返しの接触の極めてまれな状況下で、敏感の人に起こり得る。

# 製品安全データシート

DOC NO

4 / 5

版数, A/0

最終更新日 2015-1-30

## Tinci (R) NTC-CARBOMER FD 21

呼吸器への刺激 皮膚毒性	製品の吸湿性や擦過性、pHの結果が影響している可能性がある。 粉末の吸入は、咳、粘液生成、息切れの原因となる場合がある。 ウサギの LD50 は > 5000 mg / kg。成分または類似の原料データに基づいている。
吸入毒性	粉末の吸入を避ける。動物研究は、呼吸可能なポリアクリル酸塩の粉塵は、肺に炎症性変化を引き起こす可能性があることを示している。
経口毒性	ラット、経口, LD50 > 10,000 mg / kg。成分または類似の原料データに基づいている。
皮膚感作	皮膚感作を引き起こすことは想定されていない。成分または類似の原料からのデータに基づいている。
吸入感作	製品または成分が呼吸器感作物質である可能性があることを示すデータはない。
吸引の危険	未確定。
11.2 慢性暴露 慢性毒性	吸入可能な吸水性ポリアクリル酸ナトリウム粉塵に暴露されたラットを2年間の吸入試験では、炎症、過形成、腫瘍などの影響が肺に生じた。0.05 mg / m <sup>3</sup> の暴露では有害作用は認められなかった。更に、潜在的に曝露された労働者の長期にわたる医学的モニタリングでは、ラットに見られるような肺への影響は明らかになっていない。しかし、呼吸器保護措置の実施及び、推奨される許容曝露限界 0.05 mg/m <sup>3</sup> を観察することにより、吸入性粉塵の吸入を避けるべきである。
発癌性	NTP, IARC または OSHA による発癌物質または発癌性の疑いのある物質として一覧に収載されていない。
変異原性	製品または 0.1%以上存在する成分で変異原性または遺伝毒性であることを示すためのデータはない。
生殖毒性	生殖毒性の原因となる可能性のある 0.1%を超えて存在する製品または成分のいずれかを示すためのデータはない。
催奇形性	0.1%以上含有された製品または成分が、先天性障害を引き起こす原因となり得ることを示すデータはない。
11.3 追加情報	長期または反復曝露によって既存の皮膚状態が悪化する可能性がある。敏感な気道（例えば、喘息患者）を有する人は、蒸気に反応することがある。この物質は容易に湿気を吸収し、眼の粘膜との接触時に、または鼻腔への吸入の際に、濃いゼラチン状になることがある。

## 12. 環境に関する情報

### 12.1 環境への有害性：

淡水魚毒性

急性 LC50、100～1000 mg / L（成分データに基づいている）

淡水無脊椎動物毒性

急性 EC50、100～1000mg / L（成分データに基づいている）

### 12.2 環境的因果

生分解

この製品の成分の少なくとも 25%は、OECD 301 の試験データに基づき、生分解性が悪くなることを示す。この製品の成分の少なくとも 25%は、OECD 302 の試験データに基づき、生分解性が悪くなることを示す。

生物濃縮

1.0%未満の成分が潜在的に生物濃縮する。

## 13. 処分に関する考慮事項

13.1 処分方法：処分を行う場合は、地域、地方、国内および国際規制に従う。地域、地方、国内および国際規制に従って、包装または容器を廃棄する。

## 14. 輸送に関する情報

ICAO / IATA I

規制されていない

ICAO / IATA II

規制されていない

IMDG

規制されていない

IMDG EMS Fire

適用できない

IMDG EMS Spill（スピル）

適用できない

IMDG MFAG

適用できない

MARPOL Annex II

決まっていない

# 製品安全データシート

DOC NO

5 / 5

版数, A/0

最終更新日 2015-1-30

## Tinci (R) NTC-CARBOMER FD 21

USCG Compatibility (USCG の互換性) 未確定

DOT NAERG 適用できない

### 15. 規制に関する情報

アメリカ合衆国:	この物質の成分はすべて TSCA に記載されているか、免除されている。
EU:	すべての成分は、EC 第 7 改正指令 92/32 / EEC に準拠している。
日本:	すべての成分は、日本の化学物質管理法に準拠している。
オーストラリア:	すべての成分は、オーストラリアの化学物質届出要件に適合している。
ニュージーランド:	ニュージーランドの規制に従って、販売する前に通知する必要がある。
カナダ:	すべての成分はカナダ環境保護法に準拠し、国内物質リストに記載されている。
韓国:	すべての物質は韓国で遵守している。
フィリピン:	すべての成分は、フィリピン有害物質および 1990 年の有害廃棄物規制法 (R. A. 6969) に準拠している。
中国:	すべての成分は、中国の既存化学物質リストに記載されている。

### 16. その他の情報

16.1 連絡先: テクニカルサービスエンジニア (86-20) 82251159

16.2 作成者: Guangzhou Tinci Materials Technology Co., Ltd

16.3 米国 NFPA コード: Health Fire Reactivity Special  
1 1 0 N/E

16.4 HMIS コード: Health Fire Reactivity  
0 1 0

使用条件や使用方法が当社の管理範囲を超えているため、弊社はいかなる責任を負わず、本製品の使用についても一切の責任も負わないものとする。本書に記載されている情報は、正確かつ的確であると考えられるが、情報の正確性、その原料の使用に関連する危険性、またはその使用により得られる結果に関する保証はなく、明示または黙示を問わないものとする。

適用される全州の法令、地元の法律および地域の規制遵守は、使用者の責任となる。

この報告書は、利用者が使用中に発生し得る全ての状況を記載していない。操作の各側面を調べ追加の予防措置が必要かどうか、またはどこで必要なかを判断する。

ここに記載されているすべての安全衛生情報は、従業員または顧客に提供しなければならない。企業は適切な職場慣習ガイドラインと従業員教育プログラムを作成する責任がある。